2022 年度 関東学生柔道優勝大会　大会要項
（男子 69 回　女子 28 回）

1．大 会 名　　2022 年度 関東学生柔道優勝大会（男子 69 回　女子 28 回）
2．主　　催　　（社）全日本学生柔道連盟、関東学生柔道連盟
3．主　　管　　関東学生柔道連盟
4．後　　援　　関東柔道連合会、埼玉県柔道連盟
5．期　　間　　2022 年 5 月 29 日（日）
　　開　　場　　８：００　　開 会 式　　１０：００
　　試合開始　　１０：２０
6．場　　所　　埼玉県立武道館　　上尾市日の出４-1877　　TEL ： 048-777-2400
7．競技規則
（１）参加資格
①（一社）全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ（公財）全日本柔道連盟に登録した者。
②関東の国公私立大学又は短期大学などに在籍の学生。
③在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者。
④本大会への選手登録回数が４回を超えない者（ただし医学部、歯学部、獣医学部および薬学部等の６年生学部・学科に所属する学生においては６回を超えない者）。
⑤2019 年度以前入学の選手登録については、2022 年度開始時に単位修得数が、2 年生は 20 単位以上、3 年生は 40 単位以上、4 年生は 70 単位以上を修得した者でなければならない。
2020 年度以降入学の選手登録は、2 年生は 20 単位、3 年生は 50 単位以上を修得した者となり、次年度については 4 年生 80 単位以上修得となる。但し、特例措置対象者を除く。
（詳細については、単位取得制度運用説明資料を確認すること）
⑥初心者の登録については、「全柔連発第 19－0040　初心者の投込み、乱取りおよび試合までの期間について
（http://www.judo.or.jp/wp-content/uploads/2019/03/beginnernagekomikikan201903.pdf）
にある「試合に出場するまでは、６ヶ月経過後」を遵守すること。
（２）チーム編成
①男子：1 大学 1 チームとし、部長、監督、コーチ、主務各 1 名、選手 12 名以内とする。
②女子：1 大学 1 チームとし、5 人制は部長、監督、コーチ、主務各 1 名、選手 57Kg 以下 3 名・70Kg 以下 3 名（57Kg 以下エントリー可）・無差別 2 名の 8 名以内とする。
3 人制は部長、監督、コーチ、主務各 1 名、選手 6 名以内とする。
（３）試合方法
①男子：試合は各チーム 7 名の点取り式によるトーナメント戦で行い、各試合の選手配列は自由とする。
②女子 5 人制：５名の点取り式によるリーグ戦およびトーナメント戦とし、各試合の選手配列

は、先鋒・次鋒は体重 57Kg 以下、中堅・副将は 70Kg 以下、大将は無差別とする。

③女子３人制：３名の点取り式によるトーナメント戦とし、体重無差別、選手配列は自由とする。

④１回戦及び対戦校の確定している２回戦のオーダーは、９時までに各試合場係へ提出すること。２回戦以降は、対戦校決定後１０分以内に提出すること。１０分経過後は、自動的に前回戦のオーダーとする。

⑤今年度に限り、男子１部の試合方式を以下のとおりとする。

A）１部を１０大学のトーナメントで実施する。

B）トーナメント内において、昨年度昇格の帝京平成大学、群馬大学の順で既存１部大学から指名し、残留決定戦を行う。

C）残留決定戦で敗退した２大学は２部降格となり、今年度２部優勝・準優勝校と全日本出場決定戦を行い、それぞれの勝者が出場権を獲得する。

※今年度「１－２部入れ替え戦」は実施しない。

（４）審判規定

①（公財）全日本柔道連盟の定める、国際柔道連盟試合審判規定の団体戦の勝敗決定方法を準用する。

②審判は１審制とし、ケアシステムによるビデオ確認を行う。

③判定基準は「技あり」以上、または「反則負け」とする。

④勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また勝者同数の場合は内容差で決定する。前述の全てにおいて同一の場合は次のとおりとする。

・男子および女子３人制は、各大学１名の代表選手を選出し、４分間の代表戦を行う。４分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。代表戦において両者反則負け等で勝敗が決しなかった場合は、再度代表選手を選出し、代表戦を行う。

・女子５人制は、「引き分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、ゴールデンスコアにより代表戦を行う。また上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。なお引き分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗が決していない階級の中から代表選手を選出する。

※上記代表戦はスコアをリセットして行う。

また予選リーグにおいても代表戦を行い、各試合とも必ず勝敗を決する。

⑤その他、**詳細ルールについては最新のルールに則り運営する。2022 年 4 月より一部改正がされているため、各大学で確認すること。**

（５）柔道衣

(公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用する。**男子１部校と女子５人制出場校においてはブルー柔道衣を着用する**。男子２部校、女子３人制は白柔道衣に紅白帯を着用する。なお紅白帯は、新型コロナ感染防止の観点から各大学で準備すること。

（６）ゼッケン

出場選手は必ず所定の所属ゼッケンを柔道衣につけること。なおスポンサーゼッケン付きの柔道衣は認めない。

（７）新型コロナウィルス感染症対策として**入場制限を設ける**。詳細については、**「18. 新型コロナウ**

ィルスへの対応について」を参照のこと。

8．全日本出場枠

（1）男子：関東学生柔道連盟代表として 10 校を決定する。なお今年度の選出方法については、3）試合方法⑤を確認のこと。また、新型コロナウィルス感染等に伴う欠場に関する対応を別途通知する。

（2）女子：関東学生柔道連盟代表として 5 人制 **8** 校、3 人制 **4** 校を決定する。ただし、5 人制への出場校が 8 校を満たさない場合は、その残数を 3 人制に加える。なお**新規で** 5 人制に登録する場合は、最低登録人数が 5 人以上とする。また、新型コロナウィルス感染等に伴う欠場に関する対応を別途通知する。

9．選手計量

女子 5 人制出場校の先鋒・次鋒・中堅・副将出場者は計量を行う。

場所：埼玉県立武道館第 2 会議室

時間：2022 年 5 月 28 日（土）

１７：３０～１８：００（予備計量）

１８：００～１８：３０（公式計量）

※申し込み時に当日計量許可願いを提出し受理された者は、試合当日の午前 8 時 15 分より公式計量を認めることとする。**なお提出については所定のフォーマットを使用すること。**

10. 表　　彰

（1）男子 1 部および 2 部、女子 5 人制および女子 3 人制の優勝校、準優勝校、第三位校（2 校）を表彰する。

（2）技術優秀選手（男子・女子 3 人制は 4 名、女子 5 人制は 2 名）を表彰する。

11. 審 判 員

審判員は 36 名とし、原則として各大学の C 級ライセンス以上を有している指導者が担当する。なお人数に満たない場合は外部委嘱にて補充する。大会当日 9 時 15 分より、第 1 会議室において審判会議および「国際柔道連盟試合審判規定変更点」について確認する。

12. コーチングについて

本大会では選手の自主性および飛沫防止の観点から、コーチングボックスを設置しない。また試合中の選手に対し、「館内全ての者」からのコーチングを禁止する。なお審判員を担当しない指導者は、自チーム選手に対し周知徹底すること。

13. 参加申込み

（1）申込先

当連盟 HP より大会申込データをダウンロードする。必要事項を漏れなく入力し、以下のアドレスまで送信する。

申込アドレス：s.okuda@seiwa-univ.ac.jp　　関東学生柔道連盟事務局 宛

※今年度より申し込み先アドレスが変更となっているので注意すること。

（2）申込締切日

2022 年 5 月 1 日（日）～5 月 6 日（金）17 時までの間とし期間外の申込みは受け付けない。

（３）申込方法

参加申込責任者は各大学の監督とし、関東学生柔道連盟のホームページ http://kujf.jp から 2022 年度関東学生優勝大会参加申込用紙と単位修得報告書をダウンロードし、必要事項を記入の上 s.okuda@seiwa-univ.ac.jp までメールで送付する。単位修得報告書については、関東学連主催大会においては、データのみで受理する。（本人サインおよび指導者押印の免除）

（４）参加費

１チームにつき￥１５，０００とする（男女参加の場合は￥30,000）。併せて傷害保険料として１００円を選手１名につき徴収する。各大学は、合計した金額を５月６日（金）までに**下記口座へ必ず大学名**で振り込むこと。振り込みの確認が出来ない場合、本大会への参加は認めない。

＜振込先＞

銀 行 名：PayPay 銀行　ビジネス営業部

普通　3235437　関東学生柔道連盟会計　今井　学

（カントウガクセイジュウドウレンメイ　カイケイ　イマイマナブ）

また 2022 納入金内訳データを必要事項記入の上、関東学生柔道連盟会計担当：千葉工業大学今井学（imai.manabu@p.chibakoudai.jp）まで**大会申込送付とは別に**メールで送付する。

（５）選手変更

選手変更は、参加申込をしている選手が負傷欠場する場合は、医師による診断書を提出することによって認める。**また新型コロナウィルス関係以外で特別な事情により大会を欠場**する場合も選手変更を認める。**選手変更については所定のフォーマットで行うものとする。**

14. 組み合わせ

５月８日（日）15 時より、城西国際大学東金キャンパス H 棟 1 階会議室において、関東学生柔道連盟役員立ち会いのもと抽選により行う。尚、オンラインで実施するため各大学関係者で視聴を希望する場合は事前に申請すること。

15. 代表者会議

代表者会議を５月 28 日（土）17 時 30 分より埼玉県立武道館アリーナにて行う。なおオンラインでも実施するため、各大学の代表者は申込時に現地参加またはオンライン参加かを記載すること。

16. 事故処理

主催者は、大会出場選手の傷害に対して、傷害保険に加入し、負傷の際には応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。尚、選手は、当日保険証（コピー不可）を必ず持参すること。

17. 大会事務局

〒292-8555

木更津市東太田３－４－５　清和大学内　関東学生柔道連盟事務局　奥田　修平

TEL：0438-30-5621　E-mail：s.okuda@seiwa-univ.ac.jp

18. 新型コロナウィルスへの対応について

（１）参加者全員の健康チェックに関する指針

新型コロナウィルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version 5.1）に則り、**参加者全員**が「7 日前からの健康チェック」を実施する。これに併せ、当連盟の感染対策として、**参加**

選手は「大会 7 日前からの健康チェック報告」を指定フォームにより別途大会当日朝まで毎日実施する。

今大会では選手・引率者 PCR 全件検査は実施しない。ただし各所属において発熱者などが発生した場合は、速やかに PCR 検査を実施すること。なお全参加者（選手・指導者・主務）が陽性または濃厚接触（疑い（発熱の症状等）を含む）となった場合、試合当日を起算日として以下の対応を検討・実施する。

①試合当日～2 日前までに発熱者（PCR 検査の結果が提出できない）が 1 名でもいた場合、該チームの指導者は出場辞退を検討する。また当連盟の指針として、出場停止を勧告する場合がある。

②試合前 3 日前～1 週間前（健康チェック開始日）までに 1 名の発熱者がいた場合、あるいは陽性者または濃厚接触者がいた場合、試合登録者全員は速やかに PCR 検査を受診する。その結果、陽性の場合は当該選手を変更または欠場とする。2 名以上の場合（検査以降に継続して増加した場合を含める）は、当該チームの指導者は出場辞退を検討する。また当連盟の指針として、出場停止を勧告する場合がある。

③上記以前の発熱・陽性または濃厚接触については、全柔連指針に則り対応すること。

④なお上記に関わらず、練習環境においてはゾーニングを徹底し、寮生活を行っている大学については、その環境においても管理徹底すること。万が一陽性者等が確認され、ゾーニング対応等が取れていない場合、当連盟の指針として出場停止を勧告する場合がある。

（2）試合会場の入場制限について

会場内への入場制限を「概ね 500 名」とする。各大学の入場数について、1 チームの入場者数は、

・男子の部に参加するチームの上限は 15 名とし、指導者 1 名、選手 12 名、主務 1 名に、付き人 1 名を加えることができる。（ただし付き人は柔道衣を着用できない）

・女子の部に参加するチームの上限は 11 名とし、指導者 1 名、選手 8 名、主務 1 名に、付き人 1 名を加えることができる。（ただし付き人は柔道衣を着用できない）

主務は上記の人数をまとめ、総数を別に定める様式にて大会事務局に報告すること。

なお報告上の注意点として

a）指導者については、帯同審判員となる者は含まない。

b）男女別の場合は、監督・主務はそれぞれで登録が可能。

c）付き人については、開会式後は観客席に移動。（アリーナ内に滞在しない）

また全参加者はマスクを着用し、また消毒液を持参し、こまめに手指の消毒を行うこと。

※マスクを外せるのは試合者のみ。（各所属で周知徹底のこと）

大会当日、全参加者は必ず検温を行うこと。また各大学の指導者または主務は、所属全参加者の体調について確認した上で、別に定める大会 1 週間前までの健康記録表を提出すること。

各所属において、全参加者が可能な限り 1 つのグループを形成し入館すること。入館時は検温を行い、37.0℃以上の発熱を検知した場合は、会場内へ入ることはできない。

観覧席については、事前に大会事務局で指定した場所以外への着席を禁止する。通路等での立ち話や、試合終了者がアリーナ内に留まることは厳に慎むこと。

19. その他

（1）皮膚真菌症について

皮膚真菌症（トンズランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行う。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場を禁止する。

（ただし、2 週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める）

（2）脳震盪について

①大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は､脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

※至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

20. 事 務 連 絡

（1）会場設営・撤収について

5 月 28 日（土）17 時より会場設営、大会終了後には撤収作業を行う。各大学の協力を願いたい。埼玉県内の大学には別途連絡の上、人数を割り当てる場合がある。また大会終了後に理事会を開催している関係で、理事・事務局は撤収作業にあたれないため、引率の先生方については指示出しなど担当を依頼する。

（2）学生委員・会場係員について

男子 1 部所属大学および女子 5 人制所属大学の中で、**各大学 1 名**の学生委員の派遣を依頼する。派遣される学生委員は「**可能な限り前日準備および会場撤収まで担当する**」こと。

なお、消毒係を含む会場係員については別途依頼する。

（3）個人情報取り扱いについて

提出された単位修得報告書については、当連盟事務局が大会参加資格の確認以外に使用しない。なお提出された書類は事務局内にて厳重に管理し、関連する大会が全て終了した段階で責任をもって破棄する。

申し込み時に提出された個人情報や大会中に撮影された写真や動画等が、大会プログラムや大会ホームページ等に掲載される場合がある。また当連盟が取材を認めた報道機関等により紙面や動画等が公開される場合がある。この取り扱いについては、大会申し込みをもって承認を得たとして対応する。

以　上